

# 将来の柏崎を担う小学生へ 柏崎港開港50周年記念小学生体験航海



自衛隊新潟地方協力本部（本部長 1陸佐 大倉 正義）柏崎地域事務所（所長 1陸尉 森 崇）は、令和3年8月3日（火）4日（水）、柏崎港において海上自衛隊舞鶴地方隊所属の掃海艇「あいしま」「すがしま」による体験航海を行いました。

この体験航海は、柏崎港が昭和46年に国際貿易港として開港指定を受け50年の節目を迎えることを記念して柏崎市が主催した行事であり、柏崎の小学6年生約500名を対象として開催されたものです。

当日、開催セレモニーにおいて桜井柏崎市長は「柏崎の将来を担う小学生のみなさんが、海から柏崎の街を見ることで、将来の柏崎について考える機会にしてもらいたい。柏崎市は、平成19年に発生した中越沖地震において支援物資の輸送・炊き出し・入浴サービス等自衛隊に対し大変お世話になっている。こういう自衛隊の方と触れ合う機会の中で、感謝と応援をしてもらいたい。」と子供たちに語りました。



海上自衛隊の船に乗り柏崎沖約1時間の航海に出た子供たちは、出航の様子・船を吹き抜ける海風・自然豊かな柏崎の街並み・特殊な機械にあふれる船内、身近に接した自衛官等普段経験することのできない真夏の大冒険を十分に体験しました。航海を終えた子供たちは「自衛隊の船に乗れてとても感激した。みなさん優しくかった。」「景色がとてもきれいで楽しかった。」「海上自衛隊の仕事が大変なのがよく分かった。頑張ってください。」と感想を話していました。

下船後は、陸上自衛隊高田駐屯地（司令 1陸佐 比嘉隼人）の軽装甲機動車・高機動車・オートバイや新潟地方協力本部の広報ブースにおいて、自衛隊の装備品等にも触れ、体験航海の疲れも見せず暑さにも負けず元気いっぱい楽しんでいました。

新潟地本はこれからも艦艇広報を通じ海上自衛隊の魅力を発信し信頼獲得に邁進していきます。